2026年９月４日
（2026年９月30日更新）
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

決算開示資料等の一部訂正について

今般、公表済の決算開示資料等の一部訂正すべき事項があることが判明いたしました。
深くお詫び申し上げるとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

１．訂正内容

（１） 予定利息の計算誤りに伴う決算開示数値の訂正

年度決算の訂正数値の概要は下表のとおりです（訂正箇所を下線）。

【訂正前】 （単位：億円）

		2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期
T&D フィナンシャル生命	基礎利益	▲14	11	70
	順ざや額（逆ざや額）	▲10	▲16	▲0
	キャピタル損益	96	65	66

【訂正後】 （単位：億円）

		2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期
T&D フィナンシャル生命	基礎利益	▲7	18	76
	順ざや額（逆ざや額）	16	9	23
	キャピタル損益	89	58	60

2024年３月期第１四半期から2026年３月期までの期間、一部契約の予定利息の計算に誤りがあることが判明いたしました。これにより、同期間の順ざや額（逆ざや額）、基礎利益およびキャピタル損益の一部数値に誤りが生じており、決算開示資料等において当該誤りを含む数値を公表しておりましたので、これを訂正いたします。

なお、訂正対象は利源分析のための中間項目であり、経常利益には誤りは生じておりません。

（２）ソルベンシー・マージン比率等の感応度分析に関する記載の訂正

「2026Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の現状」

Ｐ.70

Ⅴ－７保険金等の支払能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

(7) ソルベンシー・マージン比率、適格資本の額及び所要資本の額の感応度分析に関する事項

【訂正前】

(当期末)　　(単位：%、百万円)

感応度分析（単体ベース）								
項目	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ
	当期末の数値	円金利50ベーシス・ポイント上昇	円金利50ベーシス・ポイント下降	米ドル金利50ベーシス・ポイント上昇	米ドル金利50ベーシス・ポイント下降	円金利UFR50ベーシス・ポイント下降	株式・不動産10%下落	為替10%円高
ソルベンシー・マージン比率	182.3%	187.2%	177.6%	180.0%	184.6%	182.2%	182.3%	174.5%
適格資本の額	208,299	211,650	205,063	207,804	208,707	208,068	208,299	204,120
総資産	3,752,688	3,694,038	3,814,510	3,733,624	3,772,080	3,752,686	3,752,688	3,617,539
保険負債の額（MOCEを除く）	3,442,029	3,378,847	3,508,258	3,423,699	3,460,814	3,442,362	3,442,029	3,312,363
現在推計を超えるマージン(MOCE)の額	14,112	13,993	14,197	14,065	14,153	14,098	14,112	14,528
非保険負債の額	82,873	84,174	81,617	82,681	83,032	82,784	82,873	81,153
純資産の額	213,672	217,023	210,436	213,177	214,080	213,441	213,672	209,493
所要資本の額	114,215	113,018	115,452	115,406	113,026	114,173	114,215	116,908
生命保険リスクの額	44,140	45,720	42,349	43,806	44,448	44,055	44,140	43,910
市場リスクの額	74,665	71,940	77,541	77,364	71,941	74,662	74,665	80,141

【訂正後】

(当期末)　　(単位：%、百万円)

感応度分析（単体ベース）								
項目	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ
	当期末の数値	円金利50ベーシス・ポイント上昇	円金利50ベーシス・ポイント下降	米ドル金利50ベーシス・ポイント上昇	米ドル金利50ベーシス・ポイント下降	円金利UFR50ベーシス・ポイント下降	株式・不動産10%下落	為替10%円高
ソルベンシー・マージン比率	182.3%	4.9%	△4.7%	△2.3%	2.3%	△0.1%	－	△7.8%
適格資本の額	208,299	3,350	△3,235	△494	408	△230	－	△4,178
総資産	3,752,688	△58,650	61,821	△19,064	19,391	△1	－	△135,149
保険負債の額（MOCEを除く）	3,442,029	△63,181	66,228	△18,329	18,784	332	－	△129,665
現在推計を超えるマージン(MOCE)の額	14,112	△119	84	△47	40	△14	－	415
非保険負債の額	82,873	1,301	△1,256	△192	158	△89	－	△1,720
純資産の額	213,672	3,350	△3,235	△494	408	△230	－	△4,178
所要資本の額	114,215	△1,197	1,236	1,190	△1,189	△42	－	2,692
生命保険リスクの額	44,140	1,580	△1,790	△333	307	△84	－	△230
市場リスクの額	74,665	△2,724	2,876	2,699	△2,723	△2	－	5,476

（訂正内容）
一部記載内容を訂正いたします。
項目ロ～チの表内の数値について、総額表示となっていたものを、当期末の数値（項目イ）との差額表示へ訂正いたします。

２．訂正対象となる開示資料

■決算開示資料

2024年３月期第１四半期から2026年３月期までの期間に公表した「決算のお知らせ」および「決算記者会見資料」について、一部数値・記載内容の修正を行いました。
修正内容は、当社ホームページの「会社業績・財務情報」をご参照ください。

■ディスクロージャー資料

・2024　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の現状

・2025　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の現状

・2026　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の現状

修正内容は、当社ホームページの「会社業績・財務情報」をご参照ください。

３．内部統制システムに関する記載の訂正［ 2026 年９月 30 日追加 ］

「2026Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の現状」
Ｐ.109
Ⅶ－２　内部統制システムの整備
１．法令等遵守体制
【訂正前】
（３）取締役の職務執行の適法性を確保するための牽制機能を期待し、社外取締役を選任する。

【訂正後】
（３）取締役の職務執行の適法性を確保するための牽制機能を期待し、社外取締役を選任することを基本方針とする。
※当社では、2026 年６月４日に公表したＰａｙＰａｙ株式会社等への当社株式の譲渡に伴い、新たな株主構成及び経営体制への円滑な移行に向けた準備を進めております。このため、2026 年７月１日時点では社外取締役を選任しておりませんが、株式譲渡後のガバナンス体制が決定されるまでの移行過程における過渡期的な対応と位置付けております。社外取締役が不在である間は、監査役（社外２名を含む）による監査、株式会社Ｔ＆Ｄホールディングスの専務執行役員１名の当社非常勤取締役への選任、株式会社Ｔ＆Ｄホールディングスとの経営管理に関する契約に基づく重要事項の事前協議・承認の枠組みを継続しております。また、経営アドバイザー（取締役会に参加）を新たに招聘し、外部の専門的な視点からの助言を受けるなど、複層的な取組みを通じて重要案件の意思決定に係る牽制及びガバナンスの実効性の維持に努めてまいります。
なお、株式譲渡後のガバナンス体制については、新たな株主構成及び経営体制を踏まえ、関係当事者との協議の上、適切に決定してまいります。

（訂正理由）
「Ⅶ－１コーポレート・ガバナンス」の体制図が 2026 年７月１日現在のものである一方、「Ⅶ－２内部統制システムの整備」の記載が同日時点の実態を十分に反映していなかったため、上記のとおり訂正いたしました。
修正内容は、当社ホームページの「会社業績・財務情報」をご参照ください。

以上